



天津の子

~Amatsu with your smile~

真庭市立天津小学校

*「天津の子」は本校HPでご覧いただけます。「天津の子」で検索してください。

イルミネーション点灯式

12月4日（土）にイルミネーションの点灯式を行いました。美しいオープニング花火のあと、運動場に集まった子供たちや地域の方の「5・4・3・2・1」のカウントダウンにより点灯したイルミネーション。点灯した瞬間に「おっー！！」という歓声と笑顔があふれていました。実行委員は、子供たちの喜ぶ顔が見たいという思いでがんばってきたので、イルミネーションをうれしそうに見る子供たちの姿に涙が出そうでした。



オープニング花火



20mをこえるイルミネーションツリーと校舎に掲げられた「かがやけ天津」



イルミネーションツリーに集まる子供たち

SDGs出前授業

イルミネーションの周りには、子供たちが作った飾りを取り付けています。その中の3年・4年・5年が作った飾りは、あぐりガーデンによるSDGs出前授業の一環として作成したものです。あぐりガーデンの藤原さんに、環境問題を中心に、「自分ごと」として考えることの大切さを学んだあと、SDGsカラーの飾りづくりを行いました。本来は、あぐりガーデンのクリスマスツリーに取り付けるのですが、天津のイルミネーションツリーもSDGsの17の目標の「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」に関連した取組であるので、こちらで取り付けさせてもらいました。



健康と福祉

今回のイルミネーションの取組は、前述したようにSDGsの「すべての人に健康と福祉を」とも関連しています。5年生では総合的な学習の時間に「健康」についての学習に取り組んでいます。その学習をいかし、「健康に生活するための運動の大切さ」をつたえるポスターを作成しました。ポスターは、「ウォーキングしながらイルミネーションを見に来て下さい」といった内容になっています。学校の周りを中心に掲示します。

4年生では総合的な学習の時間に「福祉」についての学習に取り組んでいます。その学習の一環として、天津地区の一人暮らしの高齢者の方へ手紙を書きました。手紙には一緒に明るく元気にすごせるようにという願いをこめて、イルミネーションツリーのことも書いています。



喫煙防止教室

12月2日（木）に6年生が喫煙防止の出前授業を受けました。昨年度に引き続き、そよかぜ薬局の富永さんに講師をお願いしました。たばこに含まれている有害物質についてプレゼン資料で分かりやすく教えていただきました。また、キャリア教育の一環として薬剤師の仕事についても教えていただきました。

授業後の児童の感想のひとつを紹介します。「私は、初め、なぜたばこはいけないんだろうと思っていたけど、今日なぜ悪いのかを知りました。ニコチンや一酸化炭素という人体に影響ある物質が入っていて体の中に入るとガンになることを知りました。吸っている人だけかなることだと思っていたけど、周りにいてもたばこのけむりを吸ってしまうことも知りました。」

6年生の子供たちは、今回の学びを通して、健康に生活するための知識を得ることができました。



お願い

天津小では「持ち物の約束」で学習に必要なものを持ってこないとしています。また、学習に適切な用具をお願いしています。特に、つぎの点についてご確認とご協力をお願いします。

- ランドセルにキーホルダーをつけない。（ただし防犯のためのものはよい。また、家の鍵を持っている場合やお守りをつけている場合はランドセルの内側のポケット等に入れる）
- 定規は15cm程度の透き通ってシンプルなもの。